

## 2025 年前橋市議会第4回定例会 ぜひ市議会傍聴にお出かけください！

第4回定例会が11月27日～12月16日まで開かれます。11月27日に、小川市長は辞職しました。市議団は地区委員会とともに同日声明を発表しました。声明文を右に掲載します。市長は辞職しましたが、市議会は、市長にかわり副市長が職務代行者となって総括質問や意見書・議案の採決が行われます。

4人の党市議団は力を合わせ、物価高騰で苦しむ市民生活の負担軽減と市民の願いをさらに前に進めるため全力で論戦します。オンライン視聴や議場での傍聴をよろしくお願ひします。



### ■総括質問■12月4日(木)午前11時頃 小林 久子議員(23分)

- ①物価高騰で苦しむ市民生活を支える本市の支援について
- ②粕川公民館の早期改修について ③空き家の適正管理と活用について

### ■総括質問■12月4日(木)午後4時20分頃 吉田 直弘議員(23分)

- ①千代田町中心拠点地区再開発事業の問題点について
- ②前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の見直しについて

### ■総括質問■12月5日(金)午後1時20分頃 近藤 好枝議員(23分)

- ①千代田町中心拠点地区再開発事業の見直し
- ②社会保障の拡充で地域経済の活性化
- ③学校や子ども施設利用における値上げの問題点について

### ■総括質問■12月8日(月)午後12時40分頃 吉原 大輔議員(23分)

- ①水道料金のさらなる値上げの問題点について
- ②住みやすい市営住宅のための抜本的な改善について ③道路の安全対策について

### ■議案反対討論■12月8日(月)午後2時頃 吉田 直弘議員

### ■議員発議(専決処分)の反対討論■ 12月16日(火)午後1時頃 近藤 好枝議員

★意見書起草委員は吉原議員が担当 (党市議団は2つの意見書案を提案しました)

日本共産党前橋市議団だより No.356 2025年12月2日

【発行】 日本共産党前橋市議会議員団 前橋市大手町2-11-1 前橋市議会・日本共産党議員控室  
電話 027-898-6978 FAX027-224-1199 ◆「市議団だより」の製作・折込には、政務活動費が充てられています。

## 小川晶前橋市長の辞職について(声明)

2025年11月27日  
日本共産党前橋地区委員会  
日本共産党前橋市議団

本日開催された前橋市議会において、日本共産党市議団を含む全議員の賛成で小川晶前橋市長の辞職が承認されました。市民によって選挙で選ばれた市行政のトップである市長が、既婚の男性幹部職員とラブホテルを利用していたことは、倫理的にも社会通念上も大きな問題であり、辞職は当然です。

この間、市長は感傷的になることもあり誰にも気兼ねなく話し合える場としてラブホテルを選んだと弁明し、誤解を払拭したいと繰り返し市民への説明会を開いて自己保身に終始しました。しかし、当該幹部職員は昨年4月以降、日常的に市長のスケジュールを掌握し、全ての公務の調整や打合せを行うことを職責としており、庁舎内の市長室や会議室で二人だけで相談しても誰からも疑念を持たれることもなく何の支障もなかったのです。

市長が問題の発覚以後2か月もの間、出処進退を明らかにしなかったため、「なぜ市長は責任をとって辞職しないのか」という怒りの世論が市内外に大きく広がり、市役所への抗議電話の対応で市職員の通常業務外の過重負担が強いられ、ストレスをため込みモチベーションを大きく冷え込ませました。市長の遅きに失した辞職の決断は、市政の混乱と停滞を長期化させ、事態を迅速に収拾できない市政への市民や諸団体の不信も広げました。このような事態を招いたことに対して、市民や議会に対して、市長自身の誠実な深い反省の態度がほとんど示されなかったのは大変遺憾です。

日本共産党前橋地区委員会と党前橋市議団は、昨年2月の市長選挙では、「市民本位の民主市政をつくる会」の一員として、小川陣営が掲げた学校給食費の無償化など市民要求に沿った政策に共通点が多いとの判断から、独自候補の擁立をせず小川氏を自主的に全力で支援しました。当選後も市議会では是々非々の立場で市民にとって良い施策は賛成して共に前に進め、税・公共料金の値上げや過大な市税を投入する中心市街地再開発事業やテルサの解体など市民の不利益になる施策には一貫して反対し、具体的な対案を示して是正を求めてきました。いま、物価高が続く市民の暮らしや中小事業者の経営が大変苦しくなっているだけに、今こそ、住民福祉の増進という地方自治体の責務を推進し、市民に寄り添う市政運営が切実に求められています。

日本共産党は、一日も早く市政を正常化させるとともに、市民との対話を大切にしながら、「市民が主人公」と言える市政をめざして全力を尽くす決意です。

## 国への「2つの意見書(案)」を提案し、採択に全力をあげます！

- ◆地域医療を守る診療報酬の緊急改定を求める意見書(案)
- ◆気候危機打開へ温室効果ガスの削減目標に関する意見書(案)